

給気調整レジスター（ツマミ式）
室内給気部材 形名
SRRK-100

取扱説明書(取付説明書付)

この給気調整レジスター（シャッター開口面積調節機能付）は、24時間換気方式の給気口として使用します。

- 取付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。
- 取付けは販売店・工事店さまが実施してください。



取付け終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用です。日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

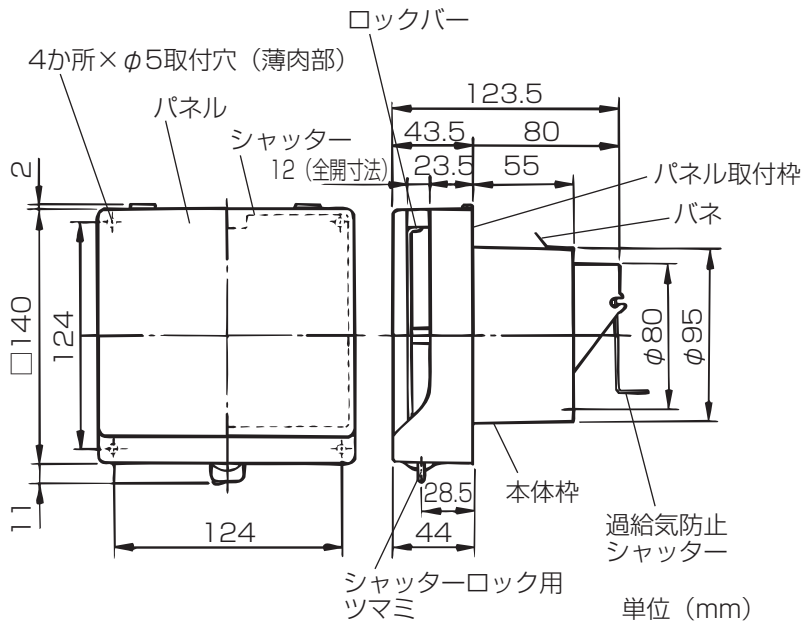
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。

 <p>指示に従い 必ず行う</p>	 <p>注意</p> <p>誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●取付けは確実に（落下によるけがの原因） ●取付け時やお手入れの際は、手袋を着用する（着用しないとけがの原因） 	

取付け前のお願い

- 接続するダクトは雨水の浸入を防ぐため、屋外に向けて1/30の下りこう配をつけてください。
- 石こうボードに固定する場合は、必ず市販の石こうボード用アンカーを使用して取付けてください。
- 高温（40℃以上）になる場所・浴室などの湿度が高い場所では使用できません。
- 直接炎・油煙があたりおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用できません。
- フィルターのメンテナンスのできる場所に取付けてください。
- 火災警報器がある場合は、感知部から1.5m以上離れたところに取付けてください。
- 下記環境下で使用しますとシャッターおよびパネル表面から結露水が滴下することがあります。
（屋外温度が-10℃を下回り、かつ室内温度20℃、室内湿度が50%RH以上）
- この製品はフィルターを有しておりますが、屋外（外気）の環境によっては、壁（天井）を汚すことがあります。
また、小さな虫は侵入する場合がありますので、屋外側においては外灯などから離れた場所を選んで取付けてください。
- 外気（冷氣）侵入や雨水浸入、虫侵入の影響のない場所を選んでください。
- 外気の入りは燃焼ガスなどを吸込まない、積雪で埋もれたりしない場所を選んでください。
- 屋外環境に適したフードを選定してください。
- 屋外部材を組み合わせる場合、壁厚が薄いと取付けられない場合があります。
- 施工したパイプに変形（ツブレ等）がある場合は、製品を取付けないでください。

外形寸法図



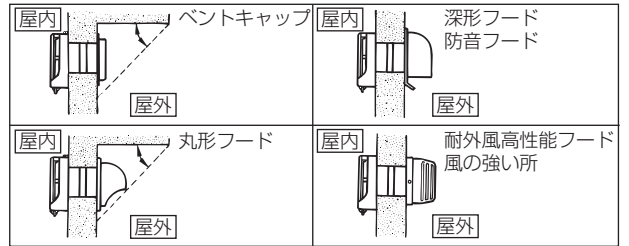
■付属部品

- パッキン (厚さ約5mm) ……………1本
- パッキン (厚さ約3mm) ……………1本

■適用パイプ

- 硬質ポリ塩化ビニル管…φ100 (SU-100特)
- 鋼板管……………φ100

■適用屋外端末部材



※鳥、虫の侵入防止には防虫網付フードを使用してください。

取付け前の準備

取付け前に下記のものをご用意ください。

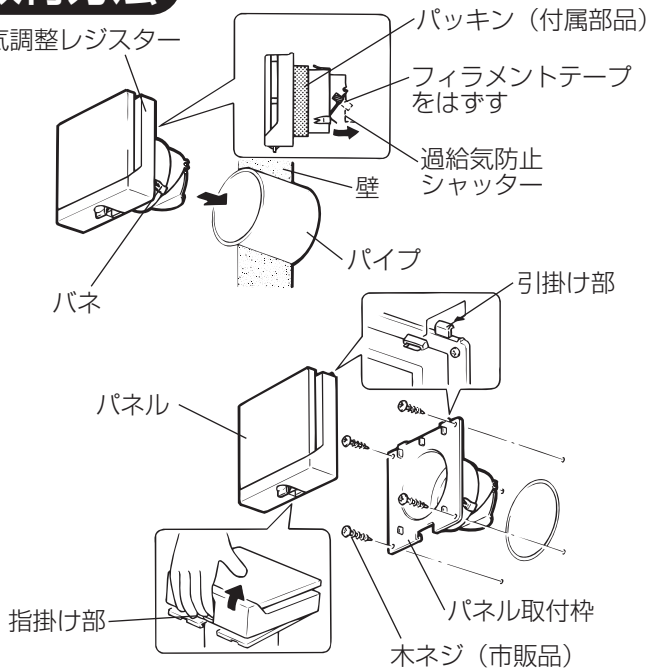
- ・シーリング材 (JIS A 5758適合品のシリコン系、変成シリコン系)

※ネジによる取付けを行う場合

- ・木ネジ (呼び径4.1以下、長さ30mm以上の木ネジ)
(カールプラグを使用する場合は木ネジに適したものをご使用ください。)

取付方法

給気調整レジスター



1. 壁厚に応じてパイプの長さを決める。
2. 壁穴にパイプを差し込み確実に固定する。
3. 過給気防止シャッターを止めているフィラメントテープをはずす。
4. 本体枠に、付属のパッキンを巻き付けパイプに差し込む。
 - パイプ内径に合わせてパッキンを選びます。
(バネにより固定されます)

■バネだけで確実に固定できない場合

1. パネルの下部の指掛け部に指を掛け、手前に引いてパネルをはずす。
2. 図のように、市販の木ネジ (4本) で壁に確実に固定する。
 - シーリング材で固定する場合は、パイプ内のほこり・水分をきれいにふき取ってください。
 - 固定の際、本体が変形しないように取付けてください。
変形や、すき間や動作不良の原因となることがあります。
3. パネルを、パネル取付枠上側の引掛け部に確実に引掛けて取付ける。

■お願い

- ダクト先端には、条件に合った屋外フード部材の取付けをおすすめします。
(風雨が強く下側から吹き上げがある場合…耐外風高性能フード)
(外の騒音大きい地域または場所……………防音フード)
- 外形寸法図の適用屋外端末部材参照

使用方法



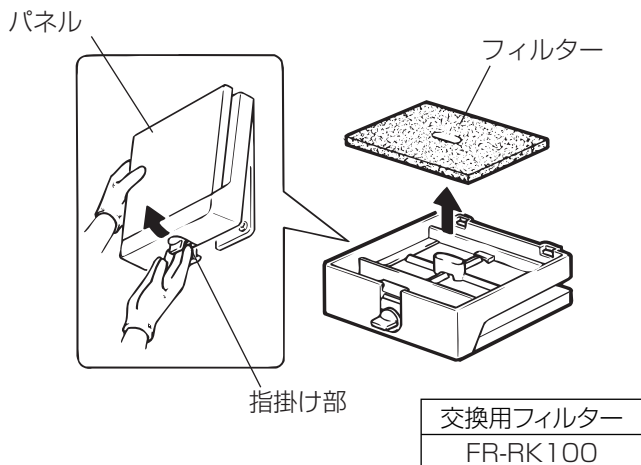
ツマミ位置 (シャッター開閉状態)	使用状態
全開 ●	・通常使用するとき
↑ ● ● ●	・給気量が多くて寒いときなどに風量を少なくするとき
閉 ■	・台風などの外風の侵入が強いつき、または、冬場の給気による肌寒さを感じる時

シャッターの開口寸法(面積)は、「全開・閉」以外に3段階の調節ができます。調節する際は、左表を参照してください。

- この給気調整レジスターは、通常「全開」状態で使用しますが、台風など外風の侵入がはげしいときはパネル下部のシャッターロック用ツマミを回転させ「閉」にします。その後必ず「全開」状態にすることを忘れないでください。
- パネル表面は使用環境条件により結露が発生し、パネル表面に水滴が付いたり滴下する場合がありますので結露による水滴を拭き取ってください。

お手入れ

フィルターやパネルにほこりが付着しますと風量低下などの原因になりますので、約2か月に1回を目安に清掃してください。



1. パネルをはずす。
 - パネルの下部の指掛け部に指を掛け、手前に引いてははずします。
2. パネルの内側からフィルターを取り出す。
3. フィルターの清掃〈フィルターは再生タイプです〉
 - 軽く手でたたかまたは、掃除機で吸い取ります。汚れのひどい場合は、水またはぬるま湯(40℃以下)に台所用中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かします。熱湯で洗ったり、もみ洗いはしないでください。フィルターは、水洗い5~6回を目安に交換してください。交換用フィルターはお買上げ販売店または裏ページ記載にお問合わせください。
4. パネルの汚れは、薄めた台所用中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取る。
5. フィルター・パネルを元通り取付ける。

お願い

- フィルターを入れ忘れると壁が汚れる原因となりますので、フィルターを入れ忘れないようにしてください。
- お手入れに下記の溶剤等を使用しないでください。
シンナー・アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・スプレー・アルカリ洗剤・化学ぞうきんの薬剤・クレンザー等けんま材入の洗剤(変質・変色する原因になります)



本 社 〒577-0016 大阪府東大阪市長田西 2 丁目 3 番 34 号 (06)6789-2321(代)